

排水路の汚濁解消を求める

A 現地を確認し、必要な指導を行っていく



なか ひこ 田 勝彦



映像はこちら

Q 企業からの排水により落合橋付近で吉野川に合流している排水路が汚濁し、悪臭が発生している。市の対応は。

A 平成23年に地元から相談があり、排水の指導権限を持つ県の北部環境管理事務所と合同で指導を行ってきた。平成25年5月に企業が排水処理施設を新設したことにより水質が大きく改善されたが、処理施設の不具合により水質が悪くなることもある。令和3年に立入検査を行ったが異常は確認されず、現在に至っている。市では現地確認を行い、県と必要な指導を行っていく。

―川本農産物直売所(道の駅「かわもと」)北側への敷地拡張について―
Q 混雑し、手狭になっている。北側の土地を買収し、こちらに新築する予定はないか。



A 一時的に駐車場が混み合う状況も確認しているが比較の利用しやすい施設になっている。拡張については、使用者であり、農業者の支援をしているふかや農協が主体となって整備するのが基本と考えている。
Q 農業者の生産意欲の醸成や農業後継者の育成について伺う。
A 生産意欲の醸成については、農業経営の安定化、効率化のための支援、農畜産物の販売流通体制の充実に向けた取組を実施し、農業後継者の育成については、農業経営の継承者を対象に、国庫補助事業を活用した補助や、新規就農者に対する各種支援を実施している。

秩父鉄道明戸駅にトイレはいつ設置されるか

A 今年度設置予定である



おか ひとし 岡 仁



映像はこちら

Q 長年に渡る地元住民から希望の秩父鉄道明戸駅のトイレ設置工事の進捗状況は。

A 昨年11月に秩父鉄道へトイレの設置要望書を提出したところ、駅構内へトイレを新規設置する旨の回答があった。

今後の進捗は、6月中旬に施工業者の選定を行い、7月に市と秩父鉄道の間で施工協定を締結、その後工事に着手し、今年度内の完成を見込んでいる。今回のトイレ整備事業費は、市と秩父鉄道が両者で負担しており一部埼玉県補助金を活用する予定である。

Q 市、秩父鉄道、埼玉県の予算の配分は。
A 3分の1ずつである。

―主要地方道深谷嵐山線について―
Q 現在埼玉県が工事を進めている



秩父鉄道 明戸駅

側溝は既存水路に接続されるが、排水能力は大丈夫か

A 日常的な雨については、排水能力は確保されている



たしま ひでお 島 秀興



映像はこちら

Q 道路側溝内の堆積物の除去はどのようなタイミングで行っているか。

A 市では定期的に行っていないが、沿線の市民や地元自治会の協力により側溝脇にあげる作業を実施していただいている。

Q 樹林地内の素掘水路は降水量が多いときは越流することもあると聞か、今後整備をしていく計画は。

A 素掘水路に接続している水路の主要ルート機能・連続性を損なうものではないことから、現時点では改修の予定はない。

―ふかや花フェスタの趣旨は何か―
Q ふかや花フェスタの趣旨・目的は何か。

A 特産物である花が持つ魅力を十分に活用し「住民によるまちづくりの実現・美しい街並みの実現・ガ-

デンシティーふかやのイメージアップを図っている。
Q 今回の花フェスタは観光客・市民・年齢層など誰をターゲットに開催されているのか。
A 市民や市外の方向けといった特別なターゲットはない。
Q ふかや花フェスタは集客とPRの好機と考えるが、イベントプランナーやコンサルタント等を入れて、祭りの魅力と効果を最大化する方向で進めることはできないか。
A 現時点では考えていない。議員をはじめ関係団体など、皆さんとアイデアを出しあいながら市民協働で開催していきたい。



現在活用事業の検討を行っており9月議会に上程予定

深谷嵐山線だが武川の交差点から秩父鉄道をくぐり上原交差点へ抜けるトンネル工事の進捗状況は。

A 整備を担当する熊谷県土整備事務所に確認したところ、「現在98%の土地を買収済み。国道140号バイパスから南へ480mの区間が供用開始済み。アンダーパス部分は令和4年度に秩父鉄道と基本協定締結済。令和5年度は電柱移設、上下水道の切り回し工事の予定。アンダーパス区間は秩父鉄道が設計中であり、用地買収も完了していないため整備完了年度は未定。引き続き秩父鉄道との調整を進め、早期の完成をめざす。」とのことである。

交付金を活用しネギーポイントバックキャンペーンを

A 現在活用事業の検討を行っており9月議会に上程予定



こま くみ子 五間



映像はこちら

Q 本年3月、物価高騰対策として地方創生臨時交付金の積み増しが決定された。本市の交付限度額は。

A 3月29日付けで、3億5,396万4千円が示された。

Q 景気浮揚策として、これまでの経験からネギーを活用してはどうか。

A 地域通貨ネギーを活用したポイントバックキャンペーンの実施は、市内経済の景気浮揚策として効果的であると認識している。当該交付金の活用については、市全体の事業実施と併せ検討したい。

―総合的なヤングケアラー支援を―
Q 総合的にコーディネートする部署はどこが担うのか。

A 新たに設置する「深谷市福祉総合相談窓口(仮称)」や会議体を所管する、福祉健康部福祉政策課で担う。
Q 義務教育を終えた後の支援や高

校生などの実態把握、相談、支援体制はどうするのか。
A 現在把握しているヤングケアラーの支援を中学卒業後も継続していくよう関係各課と対応している。高校生には、県が実態把握および啓発を行っている。今後、県と市がどのようなつながりが持てるのか対応していきたい。
Q 深谷市社協が現在行っている啓発事業継続のための本市の取組は。
A 市社協が行っているライン相談は、当事者や家族にとって必要な環境である。今後、福祉総合相談窓口の設置の際、啓発チラシに市社協の取組を掲載し一体的に周知したい。



深谷市 地域通貨ネギー negi